別紙3　点検表記録様式　　様式1（その1）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35° 41′ 9.50″
				経度	137° 42′ 2.50″
浦川第1号橋 （フリガナ） ウラカワダイ1ゴウキョウ	浦川一号線	大桑村大字長野			

管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
大桑村	2016.09.13	河川（浦川）	無	一般道	その他	上水道

部材単位の診断（各部材毎に最悪値を記入）

点検者	株式会社アンド―	点検責任者	平林　康成

点検時に記録					措置後に記録		
部材名		判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記載）	措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	剥離・鉄筋露出、ひびわれ	写真3、橋台01			
支承部		Ⅱ	漏水・滞水	写真2、支承部0202			
その他		Ⅱ	舗装の異常	写真、舗装01			

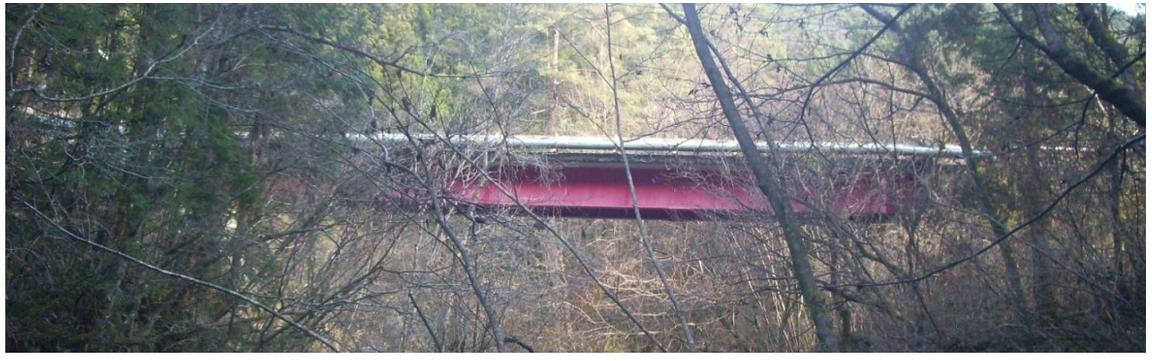
道路橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検時に記録		措置後に記録	
（判定区分）	（所見等）　伸縮装置からの漏水により、支承の腐食が進行しているため	（再判定区分）	（再判定実施年月日）
Ⅱ	予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員
1963年	24.5m	8.5m

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造（　舗装　）【判定区分：　Ⅱ　】	下部構造（　支承部　）【判定区分：　Ⅱ　】
写真 1 径間1：舗装01　舗装の異常	写真 2 径間1：支承部0202　漏水・滞水
下部構造（　橋台　）【判定区分：　Ⅱ　】	【判定区分：　】
写真 3 径間1：橋台01　剥離・鉄筋露出、ひびわれ	